



研究室紹介

教授 小松崎 将一

農業安全管理学 研究室

カバークロップを利用した持続的農法の研究、自然農法・有機農法に関する研究およびアグロエコロジーに関する研究を実施しています。



准教授 小針 大助

動物福祉管理学 研究室

家畜及び展示動物におけるアニマルウェルフェア研究、肉牛の周産期行動に関する研究を実施しています。
<http://dklabo.wixsite.com/mysite>



教授 佐藤 達雄
准教授 セタ 小百合

農業生産技術学 研究室

園芸および作物生産技術に関する地域資源リサイクルならびに農業・化学肥料使用量削減を目標とした新技術の開発導入に関する研究を実施しています。
<http://protech.agr.ibaraki.ac.jp/sub8.html>



生産物 販売

販売日時：月・水・金曜日（祝日・休日除く）
10:30～11:30 / 13:30～15:30 ※お盆に特別販売日あり
場所：研究管理棟1階

旬の果物や野菜、
切り花などを
販売しています。

アクセス



JR常磐線 土浦駅（西口）バスターミナル1番乗り場から関東鉄道バス「阿見中央公民館行」に乗車、約20分で「茨大前」下車



建物規模	
研究管理棟	1,573m ²
農機具保管庫	292m ²
畜舎群	833m ²
ビニールハウス	2,800m ²
穀物乾燥庫	240m ²
堆肥舎	178m ²
果実野菜調整庫	288m ²
食品加工室	78.7m ²

茨城大学農学部附属 国際フィールド農学センター

〒300-0331茨城県稲敷郡阿見町阿見 4668-1
Tel : 029-888-8702
Fax : 029-888-8715
Email : fscenter@ml.ibaraki.ac.jp

<http://farm1.agr.ibaraki.ac.jp/>

2019年、茨城大学は
創立70周年



茨城大学農学部附属 国際フィールド 農学センター

フィールド農学分野の発展に向けて





センター長挨拶

センター長 小松崎将一



茨城大学農学部では「国際化」と「地域の農業と地域コミュニティ」の二つの視点を併せ持つ人材育成をディプロマ・ポリシーに掲げ、平成 29 年度から改組を行いました。平成 30 年度から、大学農場を「国際フィールド農学センター」に改組し、グローバル型地域農業の実現にむけたフィールド農学の教育研究を展開し、地域社会の要請や国際化に対応したグローバル農業人材育成を深化させることを目指しています。ここでは、学部キャンパスに隣接する大学農場としては日本随一の面積を誇り、平坦で圃場利用効率が極めて高い特徴を最大限に生かした新しいグローバル対応型地域農業モデルをキャンパス内で実践していきます。



国際フィールド農学センター組織図

国際フィールド農学センターは、生産、教育、研究、地域連携、国際連携の5部門から組織されています。

教育

農業の全体像を学ぶ「農学実習」を中心に開講しています。

地域連携

地域市民への食農教育等に関する公開講座や未就学児・小学生への食農体験教室などを実施しています。

国際連携

留学生向けの実習や、海外からの研究者・技術者向けの研修を行っています。

国際フィールド農学センター



生産

茨城県の主要生産物を中心に生産・販売しています。適正な農業生産工程管理を遵守しています。(平成30年秋にJ-GAP認証取得予定)

研究

農業に関する諸理論の総合化、技術化について実践可能な農業研究を目指しています。



学生の声

農業生産技術学研究室所属
Junjira Satitmunnaithum
(タイ出身)

「サワディーカー」これはタイ式の挨拶です。茨城大学農学部附属国際フィールド農学センターは、熟練スタッフと教員のもと、あらゆる分野の実用的設備が充実しています。研究のメンバーの半分以上が留学生ですが、家族のような仲間です。私たちの研究テーマは植物生産技術学です。毎年おいしいイチゴを育てる大きな温室があります。このような研究分野や私たちの研究室に興味がある方は、いつでもお訪ねください！



農業安全管理学研究室所属
鈴木理聖（群馬県立太田女子高等学校出身）
「これぞ農学部！」といった体験ができます。美味しい体験もできるかも!? 気になった方はぜひ見学に来て下さい。



(写真 左：松岡 右：鈴木)

農業安全管理学研究室所属
松岡拓志（長野県立野沢北高等学校出身）
野生のタヌキやウサギにも出会える自然の中で、農業の発展のために実践的研究ができます。広い圃場で農業機械等を駆使した学習は、なかなか他では体験することができません。

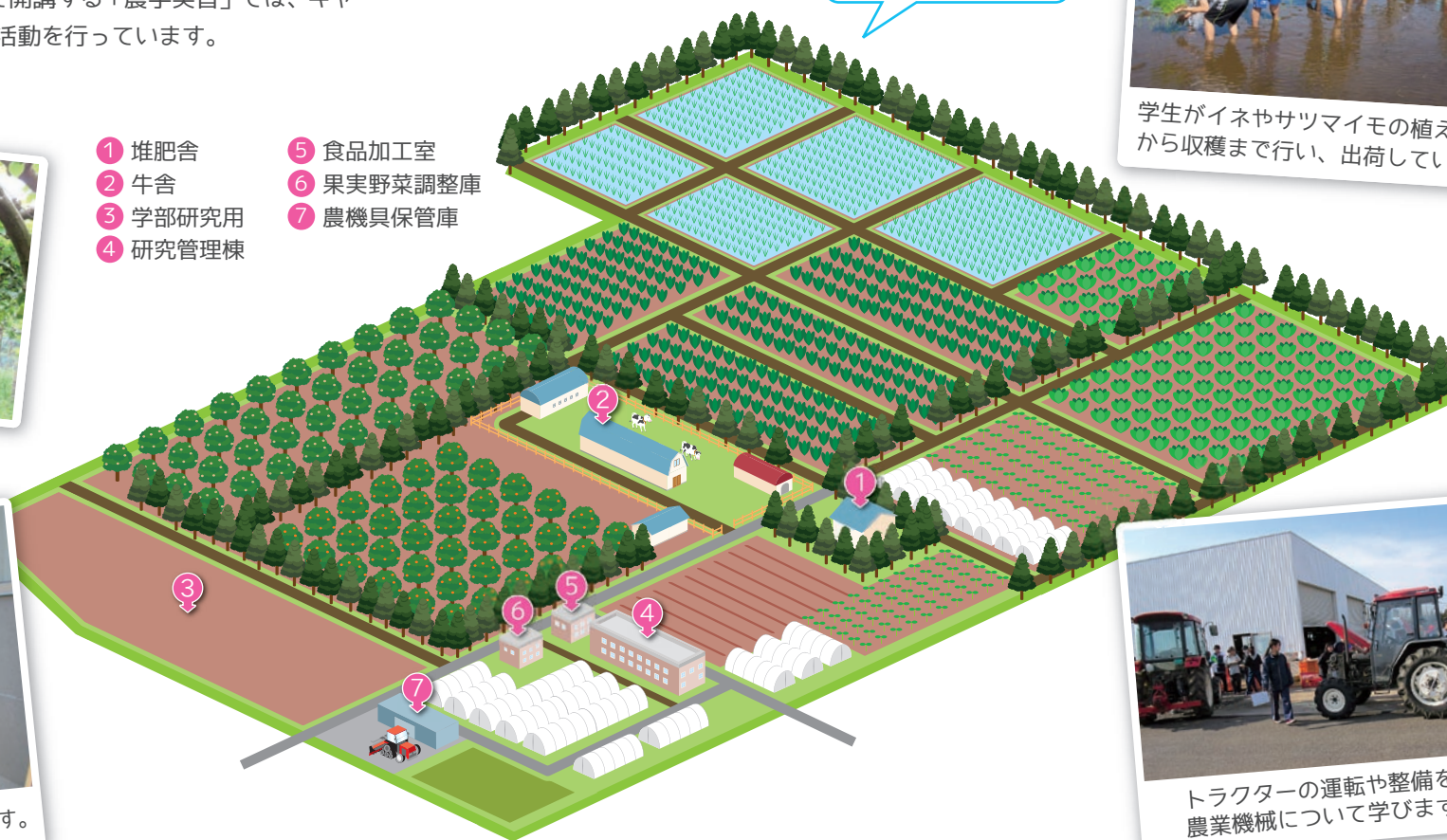


センターの生産部門の紹介と農学実習風景

国際フィールド農学センターは、農業生産額全国第2位の茨城県の立地を活かして生産・販売を行っています。また、農学部2年生の必修授業として開講する「農学実習」では、キャンパスに隣接した農場の利点を活かし、年間を通じて教育活動を行っています。

総面積 22.1 ha
水田 2.6 ha
畑地 11.6 ha
果樹園 3.3 ha

- ① 堆肥舎
- ② 牛舎
- ③ 学部研究用
- ④ 研究管理棟
- ⑤ 食品加工室
- ⑥ 果実野菜調整庫
- ⑦ 農機具保管庫



ナシ、カキ、ウメ、クリなどの果樹を栽培し、販売しています。



和牛の繁殖を行い、出荷しています。



学生がイネやサツマイモの植え付けから収穫まで行い、出荷しています。



トマト、ナス、コマツナ、タマネギなどの野菜を栽培し、販売しています。



トラクターの運転や整備を通して、農業機械について学びます。



切り花や花壇苗を栽培し、販売しています。

